

日本共産党

西宮市会報告

2015年10月 NO.101

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）

Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815

ホームページ http://nishinomiya.jcp giin.net/

9月議会

委員会担当と議会役職



杉山たかのり

団長
市監査委員
総務常任委員
☎35-1682



佐藤 みち子

幹事長
健康福祉常任委員
都市計画審議会委員
☎42-2856



上田 さち子

阪神水道企業団監査委員
建設常任委員
☎35-2813



野口 あけみ

教育こども常任委員会副委員長
広報広聴特別委員会副委員長
☎34-7329



まつお 正秀

幹事
民生常任委員会副委員長
☎73-0775



庄本 けんじ

建設常任委員
社会福祉審議会委員
☎42-0921

(市外局番は0798)

2014年度決算 280億円もの
資金余裕を市民のために

2014年度決算は、個人市民税など市税収入の伸びや、消費税8%増税による地方消費税交付金等で16億8400万円の増収になりますが、一方で地方交付税は8億9500万円の減収になります。また、アサヒ用地を土地開発公社が購入するの一般財源から55億5500万円貸し付けるなどした結果、4億8200万円の黒字決算となりました。

9月議会に先立つ9月1日、市議団は2016年度西宮市予算に反映させようと、市民のみなさんからいただいた要望などを含め、471項目にまとめた「要望書」を、今村西宮市長あてに提出しました。この提出にあたっては2か月前から市長の日程と調整し決定していたものですが、突然、前日の午後になって「他の公務が入ったので市

長は出席できない」と連絡が入りました。市議団は、欠席理由も、欠席しなければならぬ「他の公務」の緊急性も明らかにしない市長の態度を重く見て「公党として、市民の声をまとめて市長に届ける重要な公務」への認識を問う申し入れを9月3日に行いました。

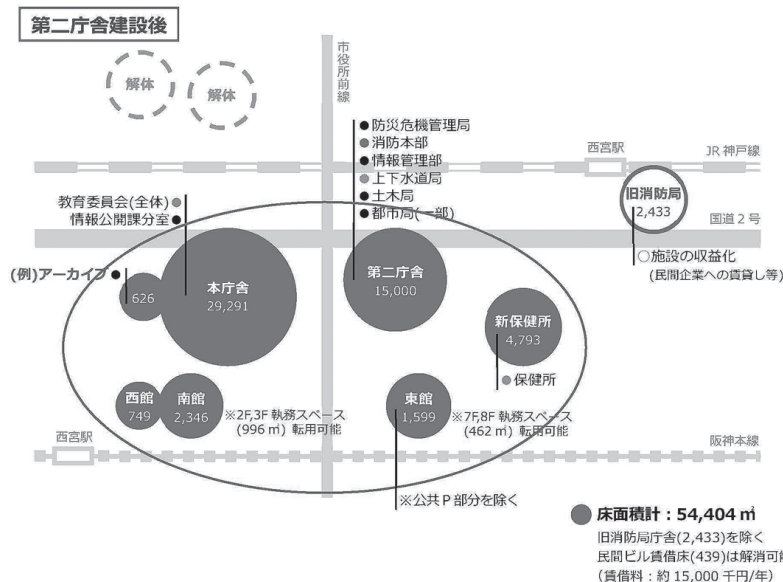
471項目 「予算要望書」を提出

討論で、この豊かな財源を、市民のくらし応援にもっと活用を求めました。

9月議会では2014年度の決算を審議しました。日本共産党市議団の6名は、市民要望実現のため奮闘しました。決算の賛否については、UR市営住宅からの市民追い出しの執行予算などがあり反対しました。



第二庁舎（危機管理センター）の整備計画を報告



市は、教育委員会敷地のほか隣接する西宮区検察庁跡地(約974 m²)を取得し、第二庁舎を建設したいと報告しました。

第二庁舎は、自然災害や大規模事故時に、市の危機管理の中心的役割を果たす危機管理センターとして災害対策本部を配置し、さらに、消防本部、上下水道局・都市局・土木局といった災害発生時に防災危機管理局と緊密な連携を図る部署も配置するとしています。

教育委員会は本庁舎へ、保健所は上下水道局庁舎へと大幅な庁舎の再整備となり、総事業費約96億円です。

「おまえら、出ろ」と、
今村市長が職員にパワハラ発言!

その席上、驚いたことに市議団全員の前で、同席していた市の幹部職員に「おまえら(部屋から)出ろ!」と、市長が言い放ち、さらに机をたたいて威圧的な態度をとりました。

パワハラとは言ってもなく、地位を利用して暴力や威圧を加えることであり、厳しく禁じられています。市長としてあるまじき態度だということから、市議団は9月16日の本会議決算質疑で取り上げ、市長の猛省を促しました。(なお、西宮市議会のインターネット録画中継で、全容がご覧いただけます)

一般質問

4年生の
学童保育H30年代なかばには
全センターで通年実施めざす

野口あけみ議員

野口あけみ議員は、今年8月のみ、2育成センター（学童保育）で4年生を受け入れたモデル実施の状況と、今後の方針について質問しました。

「来年度は年間を通じて4年生を4センター程度で受け入れ、H30年代半ばには全センターで4年生の学童保育を実施したい。並行して5、6年生を受け入れをモデル実施する」と答弁しました。

野口議員は、「子ども

市は、「男女別トイレ等の整備や、3年生までとは別クラスでの保育が



上田さち子議員は、高



上田さち子議員

「基金」活用で
国保料の引き下げを！

すぎる国民健康保険料の引き下げについて質問。

市民運動を受け、市は

るか引き上げられ、4人家族で年額26400円も値上げに。

除料を引き下げよ」と求めました。



トイレの洋式化は時代の流れです

2008年度から一般会計から国保特別会計へ財源を繰り入れし2015年度は7億円の繰り入れを実施。ところがこの間に保険料は引き下げどこ

次に上田議員は公共施設のトイレの洋式化を求めました。特に、多くの

市民が訪れる市役所のトイレは和式便器が主流で、高齢者などが使用しづら

上田議員はこの他、階段式市営住宅へのエレベーター設置も求めました。

マイナンバー制度
市民にメリットなし

見切り発車

国民一人ひとりに12桁の個人番号をつけ、国が管理するマイナンバー（社会保障・税番号）制度がスタートします。散在する様々な個人情報

試算では11・5%、約2万5千世帯に届きません。また、来年1月から交付が開始される個人番号カードの交付が任意で開始されます。

年金情報の大量流出で政府の個人情報保護に国民の不安は大きくな

今年10月から番号通知が書留で郵送。市の

は、「環境を悪化させる不要事業だ」と批判、計

「司法にゆだねる」と答弁、転居を求める正当性

は示すことはできませんでした。

UR借り上げ市営住宅
全員転居に正当性なし

杉山たかのり議員

た市営住宅のうち、青木町にあるシティハイツ西宮北口が9月末に20年の借り上げ期限満了となりました。

杉山議員は、他自治体が継続入居できるよう努力しているのに、西宮市だけがなんら方策をたて

市は、杉山議員に「正義があるのか」と問われ、

市は「住民の声が反映されるよう、ルート帯近隣でオープンハウスの開催を求める」と答弁しました。

名神湾岸連絡線
環境悪化の不要事業！

次に名神湾岸連絡線について質問。国が計画段階評価として名神西宮インターから阪神湾岸を高架方式と地下方式でつなぐ2案を提示、計画化が迫っています。杉山議員は、「環境を悪化させる不要事業だ」と批判、計

画予定の今津地域住民の意思を反映させることを西宮市に求めました。

市は「和式トイレの方が衛生的だ」との考えに固執しながらも「洋式トイレ機器の大幅な改良も進んでおり、検討する」と、前向きな答弁も。

市は「基金は万一のために残しておきたい」旨の答弁で基金活用には消極的な態度に終始しました。

大綱が示されています。市でも実態をつかみ、対策を進めるため、まずは専門部署を設けるよう、求めました。市は「関係機関による連絡調整会を立ち上げ、専門部署を設置することも含め検討する」と答弁しました。

保育所の統合で210人の大規模化
子どもの安全が損なわれる

保育所の統合で210人の大規模化
子どもの安全が損なわれる

市は、むつみ保育所と芦原保育所を統合し、定員210人にもなる計画を出してきました。



ここまで規模が大きくなると、保育の安全を確保することが極めて困難になります。

保育所は、すべての保育士がすべての子どもとかかわり、送り迎えする保護者などの家族も把握していなければなりません。

規模が大きすぎると、保育環境が保育士の力の限界を超えて厳しくなり、子どもの安全を保つことがとてもできません。

保護者や保育士から、統合しないでほしいとの請願が出され、日本共産党市議員が筆頭紹介議員となり、採択を求めましたが、不採択となりました。